３　木材価格の動向

(1)　素材価格（丸太価格）（表25、図15）

令和７年の品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア　「まつ中丸太」（径24.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、３月から８月まで低下傾向で推移したものの、９月からは上昇傾向で推移し、年平均では1万4,500円（１m^3当たり。以下、イからエまで及び(2)アにおいて同じ。）となった。

イ　「すぎ中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1万5,900円となった。

ウ　「ひのき中丸太」（径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）は、４月から低下傾向で推移し、年平均では２万5,800円となった。

エ　「からまつ中丸太」（径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1万5,400円となった。

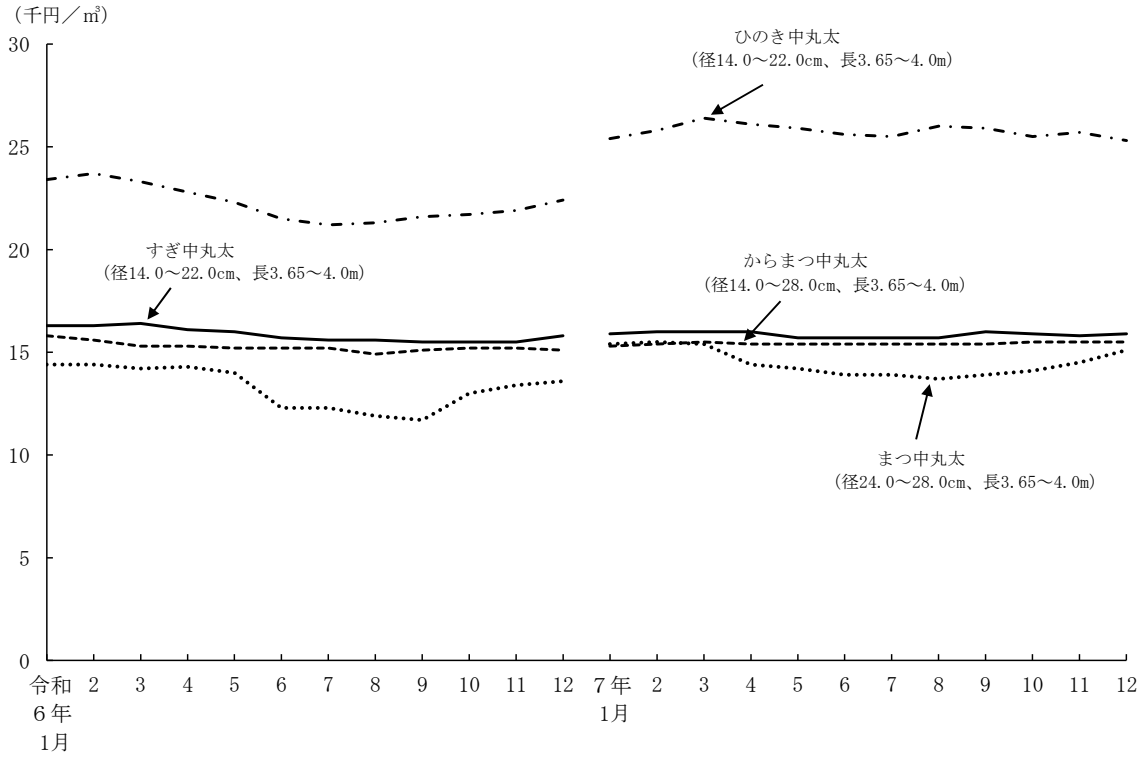
表25　素　材　価　格

単位：円／m^3

年　次	まつ 中丸太 径 24.0～28.0cm 長 3.65～ 4.0m 込み	すぎ 中丸太 径 14.0～22.0cm 長 3.65～ 4.0m 込み	ひのき 中丸太 径 14.0～22.0cm 長 3.65～ 4.0m 込み	からまつ 中丸太 径 14.0～28.0cm 長 3.65～ 4.0m 込み
平均価格				
令和６年	13,300	15,900	22,300	15,300
7	**14,500**	**15,900**	**25,800**	**15,400**
対前年差	nc	nc	nc	nc

注：　令和７年１月から、令和５年の素材・木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しを行ったことから、令和６年以前の数値とは接続しない（以下の図表ともに同じ。）。

図15　素材価格の推移



(2)　木材製品卸売価格（表26、図16、図17）

令和７年の品目別の価格の動向は次のとおりである。

ア　製材品

(ｱ)　「すぎ正角」（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m）は、４月に上昇したものの、５月から低下傾向で推移し、年平均では５万3,500円となった。

(ｲ)　「ひのき正角」（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m）は、４月に上昇したものの、その後は比較的安定して推移し、年平均では８万2,100円となった。

(ｳ)　「すぎ間柱（乾燥材）」（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m）は、４月まで上昇傾向で推移したが、５月から低下傾向で推移し、年平均では８万3,900円となった。

イ　合板

「針葉樹合板」（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m）は、年間を通して比較的安定して推移し、年平均では1,410円（１枚当たり。）となった。

表26　木材製品卸売価格

年　次	すぎ正角	ひのき正角	すぎ間柱（乾燥材）	針葉樹合板
	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 10.5 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 3.0 cm 幅 10.5 cm 長 3.0 m	厚 1.2 cm 幅 91.0 cm 長 1.82 m
	2　級	2　級	特　等	1　類
平均価格	円／㎥	円／㎥	円／㎥	円／枚
令和６年	51,800	74,800	84,300	1,570
7	**53,500**	**82,100**	**83,900**	**1,410**
対前年差	nc	nc	nc	nc

図16　製材品価格の推移

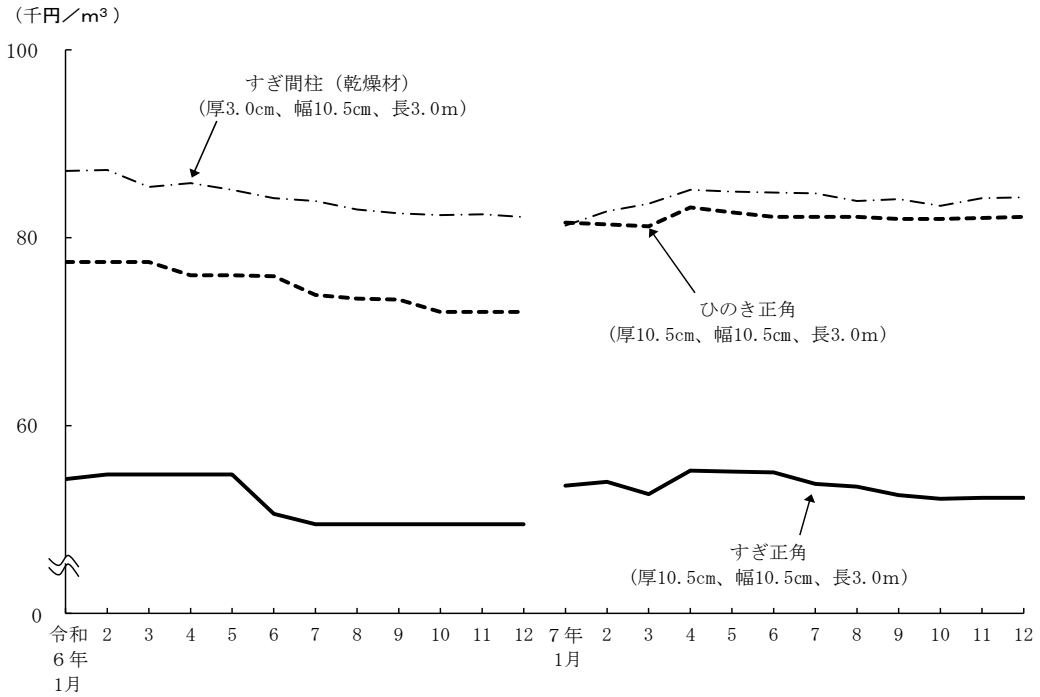
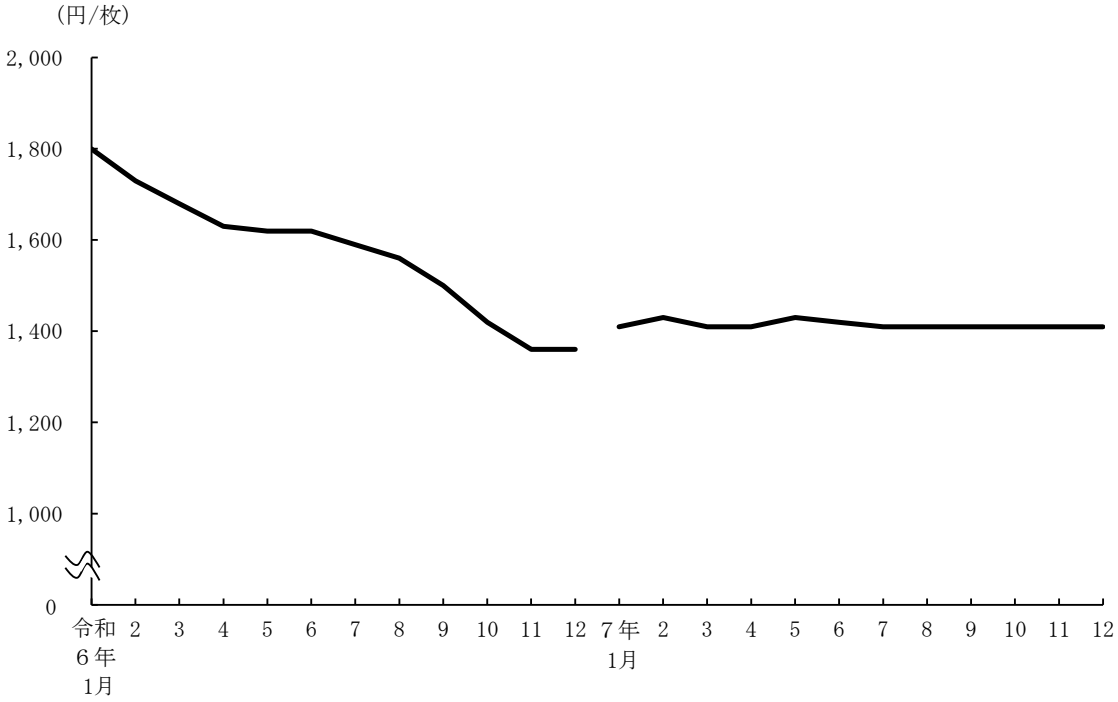


図17　針葉樹合板価格の推移



(3)　**木材チップ価格**（表27、図18）

令和７年の平均価格は、針葉樹、広葉樹ともに５月まで上昇傾向で推移したが、その後横ばいで推移し、針葉樹は、年平均では１万8,200円（１ｔ当たり。以下同じ。）、広葉樹は、年平均では２万2,900円となった。

表27　木材チップ価格（パルプ向け）

単位：円／ｔ

年　次	針　葉　樹	広　葉　樹
平均価格		
令和６年	17,700	21,900
7	**18,200**	**22,900**
対前年差	nc	nc

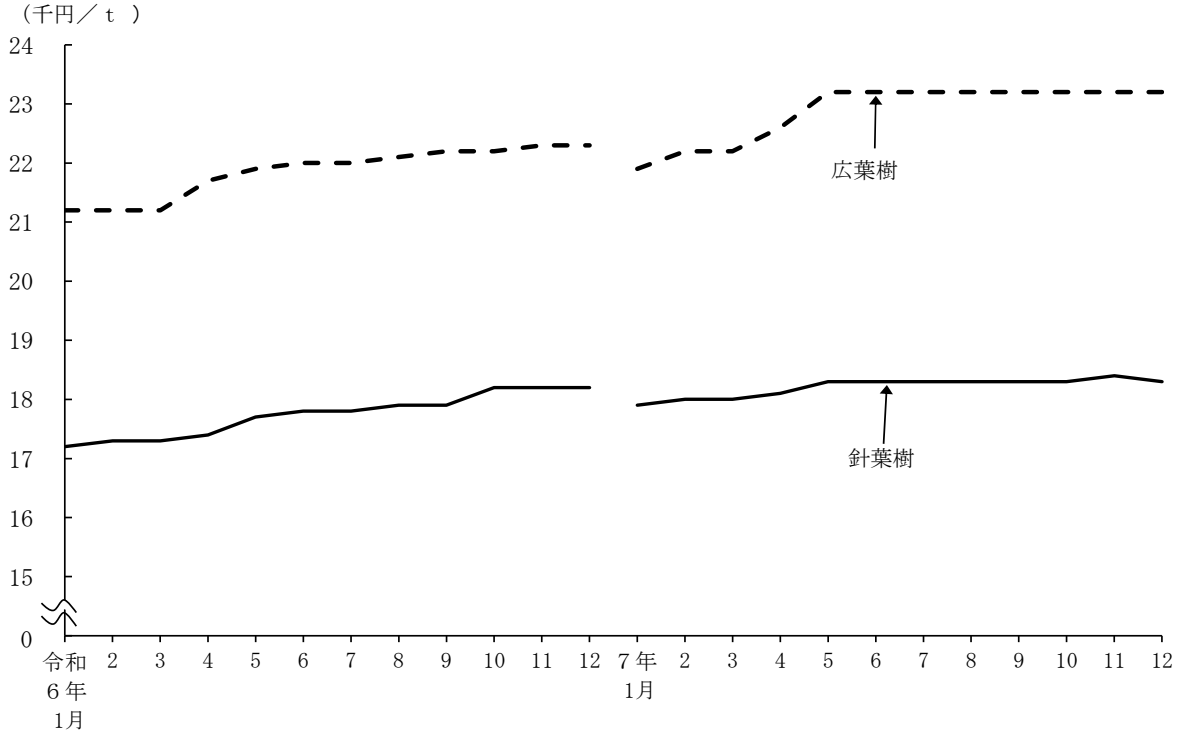



図18　木材チップ価格の推移